

## 平成 18 年度事業報告

平成 18 年度理事会ではさらなる正常化へ向けて速やかな改革を実施した。その結果、平成 19 年 1 月より学会独自の事務局を開設し業務が始まった。

この間、学会活動としては、第 60 回大会（静岡県立大学）の開催、日本栄養・食糧学会誌および JNSV 誌を定期的に刊行した。学会ホームページの充実、会員向けメールマガジン送信、特に英文ホームページを開設し積極的な情報発信の事業を実施することができた。また、各支部では支部大会、シンポジウム等活発な活動が展開され、特に東北、中部、近畿、九州・沖縄の各支部では学会活動強化事業として活動が展開された。また新たに会員増・若手会員の活動強化費も設置された。国際交流活動としては、IUNS, IUFOST, FANS 等の国際組織との連携を深めるとともに、韓国や台湾等のアジア諸国との交流促進も図られた。

### 1) 会員の状況（平成 19 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	29 名
終身会員	155 名
正会員	3,304 名
学生会員	559 名
団体会員	223 件
賛助会員	57 件（70 口）

### 2) 平成 18 年度物故会員

終身会員：倉田文夫氏、金谷昭子氏、川端純一氏、支倉サツキ氏、林寛氏、松岡瑛氏  
（19 年度）名取靖郎氏、不破英次氏

正会員：今村城太郎氏、栗田源彦氏、小林彰夫氏、近藤博信氏、島田彰夫氏、三浦一夫氏、吉栖肇氏  
（17 年度）万木良平氏

### 3) 支部別状況

会員種別 支部名	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	協賛会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	5 (- 1)	123 (+ 13)	21 (- 3)	10 (+ 1)	1[ 1] (±0)
東北支部	0 (± 0)	6 (± 0)	178 (+ 12)	24 (+ 6)	11 (+ 1)	0[ 0] (±0)
関東支部	13 (± 0)	60 (+ 1)	1247 (+ 113)	178 (+ 57)	97 (+ 4)	44[56] (- 2)
中部支部	5 (± 0)	13 (+ 1)	394 (+ 42)	70 (+ 14)	26 (+ 3)	2[ 2] (±0)
近畿支部	4 (± 0)	47 (- 3)	677 (+ 49)	113 (+ 24)	37 (+ 2)	8[ 8] (+ 1)
中国・四国支部	2 (± 0)	13 (+ 1)	357 (+ 15)	88 (+ 15)	27 (+ 2)	2[ 3] (±0)
九州・沖縄支部	4 (+ 1)	11 (± 0)	321 (+ 21)	64 (+ 16)	15 (+ 1)	0[ 0] (±0)
海外	1 (+ 1)	0 (± 0)	7 (+ 3)	1 (- 2)	0 (± 0)	0[ 0] (±0)
合計	29 (+ 2)	155 (- 1)	3304 (+ 268)	559 (+ 127)	223 (+ 14)	57[70] (- 1)

( ) 内は平成 17 年度会員に対する増減を示す。

#### 4) 学術集会・講演会などの開催

##### (1) 第60回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 横越英彦)

平成18年5月19日(金)~21日(日) 静岡コンベンションアーツセンターグランシップ 静岡県立大学  
特別講演 3題、教育講演 3題、シンポジウム 7テーマ、一般講演 661題  
参加者数(登録者)1,861名

##### (2) 一般市民向け講演会の開催

市民公開講演会 平成18年5月18日(木) あざれあ(静岡県男女共同参画センター)  
サテライトシンポジウム 平成18年5月20日(土) 静岡県立美術館・講堂

##### (3) 支部活動

###### 北海道支部

##### ・第36回日本栄養・食糧学会北海道支部大会およびシンポジウム

平成18年10月7日(土) 酪農学園大学

##### シンポジウム「フルクトンの食品と栄養の科学」

二次元NMR法を活用した複雑なフルクトオリゴ糖のNMRスペクトル解析

福士江里(北海道大学大学院)

Difructose anhydrideによる水溶性フラボノイドの吸収促進作用

松本 恵(北海道大学大学院)

フルクトオリゴ糖生産を目的とした植物酵素の遺伝子利用

上野敬司(光塩学園女子短期大学)

Postharvest metabolism of the fructooligosaccharides in onion and allied crops

N.Benkeblia(北海道大学大学院・酪農学園大学)

結晶1-ケーストスの製造方法と新しい機能性

福森保則(ホクレン農業研究所)

フルクトオリゴ糖の機能進化: 整腸から、ミネラル吸収促進、免疫、凍結保護へ

平山匡男(新潟薬科大学)

一般講演 8題

###### 東北支部

##### ・第40回日本栄養・食糧学会東北支部大会およびシンポジウム 《学会活動強化費補助事業》

平成18年10月14日(土) 山形大学農学部

##### 公開シンポジウム「生理活性脂質と脂質データベース」

ドコサヘキサエン酸の中枢神経作用とそのメカニズム

西川 正純(宮城大学食産業学部)

植物ステロールの血漿コレステロール低下作用と難吸収性の機構

池田 郁男(東北大学大学院)

バイオインフォーマテックスの発展と生理活性脂質データベース

大島美恵子(東北公益文化大学)

一般講演 10題

##### ・日本栄養・食糧学会東北支部若手活動強化シンポジウム 《学会活動強化費補助事業》

平成19年2月3日(土) 東北大学大学院

##### シンポジウム「これからの食品機能解明のための生命科学的解析手法」

LC-MS-MSによる食品の機能性解明

仲川清隆(東北大学大学院)

プロテオミクス技術によるタンパク質機能解析: 食品機能解明への応用

小川智久(東北大学大学院)

栄養素の新機能とこれからの Nutrigenomics 解析

白川 仁(東北大学大学院)

生命科学現象の化学遺伝学的解明のための有機化学的アプローチ

及川雅人(東北大学大学院)

###### 関東支部

##### ・第78回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成18年11月25日(土) 日本獣医生命科学大学

##### シンポジウム「望ましい食習慣の確立と各種食情報のあり方」

ヒトの食嗜好の構造と食習慣の確立

伏木 亨(京都大学大学院)

望ましい食習慣の確立に向けての栄養指導の現状と評価

岡崎光子(女子栄養大学)

テレビ番組制作側から見た食情報の態様と食文化・食習慣の行方

北折 一(NHK科学・環境番組部)

各種食情報の発信と受信の現状と課題

高橋久仁子(群馬大学教育学部)

##### パネルディスカッション「望ましい食習慣の確立と各種食情報のあり方」

パネリスト: 伏木亨、岡崎光子、北折一、高橋久仁子、山田和彦(国立健康・栄養研究所)

司会: 沖谷明紘(関東支部支部長)

・第10回脂質栄養シンポジウム

平成19年2月3日(土) 科学技術館サイエンスホール

シンポジウム「世代別の食育を考える」

セッション1「小児の食育」

「妊婦・小児の食育」

「小児のメタボリックシンドローム」

特別講演「テラーメイド栄養学」

セッション2「成人の食育」

「保健師からみた中高年のメタボリックシンドローム」

「介護予防のための栄養・運動プログラム」

・第79回日本栄養・食糧学会関東支部総会および大会シンポジウム

平成19年3月17日(土) 明治大学駿河台校舎リパティータワー

シンポジウム「食品・生体におけるメイラード反応の意義」

メイラード反応後期段階生成物(AGE)の生成機構と新たな生理作用

食品蛋白由来メイラード反応生成物のピロリ菌抑制作用

脂質のグリケーション生成物の構造と生理作用

生活習慣病におけるTAGE(toxic AGEs)病因説と食品由来AGEsの寄与

食品栄養におけるメイラード反応の意義

グエン・ヴァン・チュエン(日本女子大学家政学部)

坂本元子(和洋女子大学)

松山 健(公立福生病院)

香川靖雄(女子栄養大学)

野口 緑(兵庫県尼崎市市民局)

木村美佳(ILSI JAPAN)

渡邊寛人(明治大学農学部)

平本 茂(日清ファルマ(株))

宮澤陽夫(東北大学大学院)

竹内正義(北陸大学薬学部)

中部支部

・第53回日本栄養・食糧学会中部支部大会 《学会活動強化費補助事業》

平成18年11月25日(土) 静岡大学農学部

受賞記念講演

肝硬変の栄養治療に関する研究

武藤泰敏

シンポジウム「栄養学分野における脂質研究の最前線」

注目される機能性脂質の健康効果

柳田晃良(佐賀大学農学部)

リポ蛋白質レセプターを介する生体恒常性の維持機構

佐伯茂・金東浩(大阪市立大学大学院)

アミノ酸、ライフスタイルによるコレステロール代謝の制御

小田裕昭(名古屋大学大学院)

近畿支部

・第45回 日本栄養・食糧学会近畿支部大会 《学会活動強化費補助事業》

平成18年10月28日(土) 武庫川女子大学 中央キャンパス

公開シンポジウム「食べ物と健康」

狂牛病が問いかけたもの

福岡伸一(青山学院大学)

ガン予防食品研究の最近の話題

大澤俊彦(名古屋大学大学院)

一般講演 65題

中国・四国支部

・第39回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

平成18年10月28日(土)~29日(日) 徳島大学蔵本キャンパス 医学部第2臨床講堂

特別講演「Protein Requirements of Infants and Children」

Peter James Garlick(アメリカイリノイ大学)

特別講演「運動器の老化と抗老化食の開発」

二川 健(徳島大学大学院)

一般講演 25題

九州・沖縄支部

・日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本農芸化学会西日本支部合同大会 《学会活動強化費補助事業》

平成18年9月29日(金)~30日(土) 佐賀大学農学部

公開シンポジウム「食と健康の科学」

機能性食品と生活習慣病予防

柳田晃良(佐賀大学)

タンパク質・アミノ酸による血漿ホモシステイン濃度の制御

杉山公男(静岡大学)

緑茶カテキンの脂質代謝改善作用

池田郁男(東北大学大学院)

食品の健康強調表示

山田和彦(国立健康・栄養研究所)

一般講演 125題

## 5) 学会誌その他刊行物の発行

- (1) 日本栄養・食糧学会誌 59巻2号~6号、60巻1号の刊行
- (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)  
日本ビタミン学会との共同編集  
Vol.52 - No.2 ~ No.6、Vol.53 - No.1 の刊行
- (3) 学会監修出版物
  - 「アミノ酸の機能特性 -ライフサイエンスにおける新しい波-」  
矢ヶ崎一三、門脇基二、舩重正一、横越英彦 建帛社
  - 「食品の生理機能評価法 -実験系とツールの新展開を目指して-」  
津田孝範、堀尾文彦、横越英彦 建帛社
  - 「食品安全評価の考え方 -畜産食品を中心に-」  
本間清一、舩重正一 光生館

## 6) 研究業績の表彰および研究の奨励

- (1) 平成 18 年度受賞者
  - 功労賞 (佐伯賞) 奥田拓道、尚弘子、脊山洋右、野口忠、武藤泰敏
  - 学会賞 江崎治、柳田晃良
  - 奨励賞 大森 (平野) 玲子、亀井康富、菅原達也
- (2) 平成 18 年度栄養・食糧学基金研究助成授与
  - 栄養・食糧学学術基金研究助成 薩秀夫、津田孝範
  - 栄養・食糧学特定研究基金研究助成 該当者なし

## 7) 国際学術団体への協力

- (1) 英文ホームページを作成
- (2) The International Union of Nutritional Sciences (IUNS)  
日本学術会議 (清水誠連携会員) は国際交流のため IUNS との活動窓口となり、本会はその支援組織。
- (3) The International Union of Food Science and Technology (IUFoST)  
第 7 回 IUFoST Japan 公開シンポジウム「世界における地域伝統食品の継承から機能性食品への展開」  
(2007 年 5 月 20 日、本会 60 周年記念サテライトシンポジウム) を支援。
- (4) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)  
第 10 回アジア栄養学会議 (2007 年 9 月 9 日 ~ 13 日、台北) の周知とサーキュラーを提供。また、大会実行委員長の Chin-jang Huang 教授 (台湾国立大学) からの要請に応え、本会会員にシンポジウム等の提案と参加要請を行った。Huang 教授を本会 60 周年記念式典に招請。
- (5) Korean Society of Food Science and Nutrition (KFNS)、Korean Nutrition Society (KNS)  
関係する本会会員との相互交流が図られ、要請に応じた支援が行われた。

## 8) 委員会活動

- (1) 各種授賞等選考委員会 平成 18 年 5 月 19 日、平成 18 年 12 月 2 日
- (2) 功労賞選考委員会 平成 19 年 1 月 12 日
- (3) 学会活動強化委員会 メール会議  
学会活動強化費 (東北、中部、近畿、九州・沖縄の各支部から申請) による学術企画の支援。会員増・若手活動強化費 (東北支部より申請) による企画支援。栄養・食糧学基金研究助成の予備審査。
- (4) 倫理審査委員会 倫理審査申請 2 件 (書面審査) メール会議
- (5) 広報委員会  
第 60 回日本栄養・食糧学会大会記者会見 平成 18 年 5 月 8 日 東京  
ホームページ (URL <http://eishoku.umin.ne.jp/>) の充実  
アミノ酸データベースの改善  
英文ホームページの作成  
Eishoku News 平均月 1 回
- (6) 国際交流委員会 1 回、平成 18 年 8 月 9 日: 他は、メール会議  
IUNS、IUFoST (IUFoST Japan)、FANS 及び国外栄養・食糧学関係学会等に関する情報整理および連絡を行った。[9) 国際団体との連絡・協力の項参照]
- (7) 名誉会員・終身会員推薦委員会 平成 19 年 1 月 12 日
- (8) 用語委員会  
メール会議、藤本健四郎委員長の理事会 (平成 19 年 3 月 3 日) での進捗状況説明

( 9 ) 栄養成分表示・栄養教育検討委員会 平成 18 年 10 月 16 日、平成 18 年 12 月 5 日

## 9) 日本栄養・食糧学会創立 60 周年記念式典

( 1 ) 平成 19 年 5 月 17 日 ( 木 ) 13 : 00 ~ 17 : 00 国立京都国際会館 ( アネックスホール )

市民フォーラム「おこしやす 長寿の秘密の世界へ」

司会 : 小川 博

座長 : 柴田 克己、村田 容常

はじめに

本間 清一 ( 日本栄養・食糧学会会長 )

日本の食事情 ~ 飢餓、飽食、そして食の倫理

安本 教傳

世界の食生活と長寿 ~ 世界の長寿、日本の長寿

家森 幸男

食品の機能と健康 ~ その現状を眺め未来を想う

荒井 綜一

食の安全と安心 ~ リスクの管理とリスクの認知

新山 陽子

食文化の伝承と食嗜好 ~ 日本料理の味

的場 輝佳

おわりに

小川 正 ( 第 61 回大会会頭 )

( 2 ) 平成 19 年 5 月 18 日 ( 金 ) 14 : 20 ~ 18 : 40 国立京都国際会館 ( アネックスホール )

記念式典

開会の辞

久保田 紀久枝

座長 : 宮澤 陽夫

基調講演「日本栄養・食糧学会の歩み」

本間 清一 ( 日本栄養・食糧学会会長 )

来賓挨拶

C-J Huang ( 台湾栄養学会会長 )

来賓挨拶

Oh Man Jin ( 韓国栄養食糧学会会長 )

日本農芸化学会・日本臨床栄養学会 祝辞

磯貝 彰、板倉 弘重

シンポジウム「栄養・食糧学研究の過去、現在、未来」

司会 : 久保田紀久枝

座長 : 田中 平三、五十嵐 脩

農学基盤からの栄養・食糧学への期待

菅野 道廣

タンパク質代謝研究の発展

野口 忠

糖尿病・メタボリックシンドロームのメカニズムと治療・予防戦略 - 栄養学研究の視点から -

門脇 孝

ボーダーのない栄養学の時代 : 食が足りた人間に対する栄養学の新しい使命

伏木 亨

食品機能性研究と Food Chemical Biology

清水 誠

パネルディスカッション

閉会の辞

小川 博

( 3 ) 平成 19 年 5 月 18 日 ( 金 ) 18 : 40 ~  
60 周年記念祝賀会・第 61 回大会懇親会

国立京都国際会館 ( アネックスホール )

司会 : 中野 長久